

自立していこう

チョウ・ガイテイ

私は一人暮らしの間に甘やかされることは当たり前ではないのを見直しました。

多分みんなと同じく、大学に入る前に両親と一緒に暮らしていました。一人子だから、小さい頃から両親にかわいがられていました。その上で、親戚の間でも末っ子で、親戚の家に行っても、何もしなくてもいいよと言われます。18歳までの人生を振り返ると、ほぼ家事はやったことはないし、いつも誰かに手伝ってもらい、甘やかしてもらうのは当たり前とっていました。そういう生活を送ってきた私は、実家から離れ、しかも一人暮らしする生活は/どういう感じなのかは一度も考えたことはないです。だから、一人暮らしはどんなに大変なのか/分からなかったのです。こうして、わからないまま/私は台湾に留学生活を始めました。

母は私が一人暮らしをすることをとても心配していたので、家事を手伝ってみて/と言いましたが、手伝わなかったです。私は楽天的な性格で、きっと誰かに助けてもらうでしょうと思ってしまいました。しかし、最初の頃は友達もいないし、手続きや買い物などは/全部ひとりで済まさないといけないです。すべきことはたくさんありますが、どうすればいいのか全然思いつかないです。家事とかも家で一度もやったことはないことが/自分でやるしかないことになりました。困ったときはいつも母に電話をかけて聞きましたが、ある日母に「家族の存在は当たり前ではないんだ。いつかあんたもひとりになって、こういう簡単な家事はやらなきゃいけないんだ」と言われました。そんなことは、実家にいたときに知るべきでしたが、自分と関係ないと思っていたからまったく覚えていません。両親になんでもやってきてもらったから、いつでもそういう人がいると思ってしまいました。感謝する心がなかなか芽生えなくなりました。

そこで、まず自分でどうやって家事をするのかを調べました。ネット上でいろいろなコツがあって、どうやって掃除するのが一番きれいかや、洗濯機は常に掃除するなど、今まで聞いたことがないことを全部わかりました。それで半年をたって、自然にこういうひとり暮らしの生活に/慣れてきました。

そして、日本に留学する前に/香港の実家に帰ってきました。2年ぶりに実家に帰ったから、両親は昔の通り優しくしてくれて、毎日手作り料理作ってくれるし、何があっても助けてくれます。それを見て、私は自然に服を整理し始めました。昔はソファでまだ整理していない服に気付いてないふりをしていたので、少し成長したと思います。この恵まれた環境は当たり前ではなく、愛してくれるからこそこうやってくれるということをようやくわかりました。これからも両親に心配をかけないように自立していきます。

ご清聴ありがとうございました。